

長期低炭素ビジョン小委員会 開催経緯

《第1回》(平成28年7月29日)

○長期低炭素ビジョン小委員会の進め方等について

《第2回》(8月30日)

○中国 国家気候変動戦略研究国際協力センター 国際合作部 柴麒敏(チャイ チーミン)主任

「*Toward 2050: China's Low Carbon Development Strategy, Policy and Market Outlook in Post-PA Era*」

○(株)三井物産戦略研究所 本郷尚シニア研究フェロー

「*COP21パリ合意とビジネスインパクト～気候変動問題と成長戦略～*」

○国土交通省国土政策局 林田雅秀計画官

「*国土形成計画について*」

《第3回》(9月15日)

○(国研)国立環境研究所地球環境研究センター 気候変動リスク評価研究室 江守正多室長

「*パリ協定の長期目標に関する考察*」

○東京大学大学院工学系研究科技術経営戦略学専攻 阿部力也特任教授

「*Digital Grid: 電力ネットワークイノベーションによる温室効果ガス80%削減への道筋*」

○日本環境ジャーナリストの会 水口哲会長

「*暮らしを改善し、CO2を減らす GDPは伸ばし、GHGは減らす国々に見る「金・組織・知」の回し方*」

《第4回》(9月29日)

○(国研)国立環境研究所 社会環境システム研究センター 亀山康子副センター長

「*主要国における長期目標設定・長期戦略策定の経緯について*」

○東京海上ホールディングス(株) 長村政明経営企画部長兼CSR室長

「*金融安定理事会 気候関連財務ディスクロージャータスクフォースによる提言の方向性*」

○早稲田大学創造理工学部社会環境工学科 森本章倫教授

「*次世代交通とコンパクトシティ*」

《第5回》(10月6日)

- (一財)建築環境・省エネルギー機構 村上周三理事長(東京大学名誉教授)
「民生部門の長期低炭素ビジョンー 低炭素化が拓く環境建築のニューフロンティアー」
- 東松島市復興政策部復興政策課 高橋宗也課長
「『復興』と『エネルギー地産地消型のまちづくり』」
- (一財)電力中央研究所社会経済研究所 杉山大志上席研究員
「イノベーションと温暖化対策長期戦略」

《第6回》(10月13日)

- (株)三菱総合研究所 小宮山宏理事長
「2050年80%削減は可能である」(2050年の姿)
- 名古屋大学未来材料・システム研究所未来エレクトロニクス集積センター 天野浩センター長・教授
「次世代超スマート社会を支える窒化物半導体デバイス」
- 大阪大学大学院工学研究科電気電子情報工学専攻/名古屋大学未来材料・システム研究所 森勇介教授
「超高効率GaNパワー・光デバイスの技術開発とその実証」
- (株)住環境計画研究所 中上英俊代表取締役会長
「家庭における省エネルギー行動の促進」

《第7回》(11月2日)

- ポツダム気候変動研究所 Hans Joachim Schellnhuber(ハンス・ヨアヒム・シェルンフーバー)所長
「The Climate Challenge」
- ドイツ連邦環境・自然保護・建設・原子炉安全省 Harald Neitzel(ハラルド・ナイツェル)課長補佐
「Climate action plan 2050」

《第8回》(11月11日)

- 東京大学生産技術研究所 野城智也教授
「イノベーションとは何か 気候変動抑制及び適応への変革を念頭に」
- 日産自動車(株) 企画・先行技術開発本部技術企画部 朝日弘美エキスパートリーダー
「持続可能なクルマ社会を目指してー日産自動車のチャレンジ」
- グリーン連合(NPO法人環境文明21) 藤村コノエ共同代表
「長期低炭素ビジョン作成に対する期待と要望」
- 気候ネットワーク(CAN-Japan 代表) 平田仁子理事
「長期低排出発展戦略に対する意見 2050年までの明確な道筋づくり」

《第9回》(11月29日)

- シエル Steve Hill(スティーブ ヒル)氏
「A BETTER LIFE WITH, A HEALTHY PLANET」
- フランス環境・エネルギー・海洋省 Richard Lavergne(リシャール ラヴェルニュ)
エネルギー・気候局長上級顧問兼持続可能な開発局高等弁務官上級顧問
「French experience on long term energy & climate planning」
- Climate Youth Japan(学生団体)
「将来世代を担う若者からの声」

《第10回》(12月13日)

- これまでのヒアリング等における意見のまとめ
- 気候変動に関する科学的知見及び国際動向
- 国内の主要な課題と今後の社会動向

《地方ヒアリング(岡山会場)》(平成29年1月12日)

《地方ヒアリング(名古屋会場)》(1月13日)

《第11回》(平成29年1月19日)

- 長期大幅削減・脱炭素化に向けた基本的考え方
- 長期大幅削減の絵姿
- 長期大幅削減の実現に向けた政策の方向性

《第12回》(2月3日)

- 長期低炭素ビジョン取りまとめ(案)

《第13回》(3月1日)

- 長期低炭素ビジョン取りまとめ(案)

《第14回》(3月16日)

- 米コロンビア大学 Joseph E. Stiglitz (ジョセフ・スティグリッツ)教授
「*The Environment and the Economy: Working Together*」

《第15回》(6月12日)

- 諸外国の長期戦略の概要
- 今後の検討について

《第16回》(8月2日)

- (一社)海外電力調査会 相澤善吾前会長
「*海外のエネルギー事情と低炭素化対策*」
- A.T. カーニー(株) 笹俣 弘志パートナー エネルギー・素材 プラクティス リーダー
「*電力自由化の進展と電源ミックス及びCO2排出量への影響*」
- スプリント・キャピタル・ジャパン(株) 山田光代表取締役
「*低炭素社会のエネルギー・ビジョン ～ゼロベースでのパラダイム構築を～*」

《第17回》(9月5日)

- グローバルCCSインスティテュート Brad Page(ブラッド ペイジ)チーフエグゼクティブ オフィサー
「*GLOBAL STATUS OF CCS: 2017*」
- グローバルCCSインスティテュート Ingvild Ombudstvedt(イングビット オンブストレット)シニア クライアントエンゲージメント リード
「*Norwegian CCS Activities*」

《懇談会》(9月19日)

- 東京電力パワーグリッド(株) 岡本浩取締役副社長
「*低炭素化に向けた電力システムの方向性と課題*」
- 京都大学大学院経済学研究科再生可能エネルギー経済学講座 安田陽特任教授
「*再生可能エネルギーの系統連系問題はなぜ日本で顕在化するのか?*」

《第18回》(10月6日)

○(一社)海外電力調査会 相澤善吾前会長

「海外のエネルギー事情と低炭素化対策 - 海外のエネルギー事情と低炭素化対策 -」

○笹川平和財団 田中伸男会長

「嵐の中のエネルギー・地球環境戦略 米国トランプ政権の外交とエネルギー地政学」

○気候変動緩和策の国際協力に関する戦略的な検討について.

《第19回》(10月25日)

○英国気候変動委員会 Baroness Brown of Cambridge (バロネス ブラウン オブ ケンブリッジ) 副会長

「*The UK's climate strategy*」

《第20回》(12月19日)

○各国の長期戦略における大幅削減に向けた示唆について.

○「カーボンプライシングのあり方に関する検討会」の検討状況について(報告).

《第21回》(平成30年2月20日)

○2050年に向けた機会と課題について.